

1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15日～21日は「防災とボランティア週間」です。

「災害への備え」、大丈夫ですか？ もう一度、確認しておきましょう

=豊中市からのお知らせ=

これまで私たちは様々なかたちで数々の災害を経験し、数多くの教訓を学びました。これらの教訓を忘れることなく大切に、いつ起こるかもしれない災害に備えることが大切です。

豊中市では災害に備え、本日お配りした非常用保存食などの生活必需品を備蓄しています。また、大災害時に緊急情報を流すため市立小学校（40校）に同報通信システムの防災用スピーカーを設置しています（裏面参照）。ご家庭でも1月17日の「防災とボランティアの日」を機に、家族全員で話し合ってみてください。（※お配りした非常用保存食は、賞味期限までにお召し上がりください。）

～防災は家庭から～

① 家の中には、危険なものがいっぱい！

家の中を見渡してみると、家具や本棚、テレビ、ステレオなど災害時には凶器となるものがいっぱい！高いところに重いものを置かない、家具などが転倒しないように固定する、ガラスが割れても飛び散らないように飛散防止フィルムを貼るなどの対策を考えましょう。

② 災害は家族一緒のときに起こるとは限りません！

例えば、平日の昼間に災害が起こったら、それぞれ職場や学校など家族はバラバラです。そこで、集合場所として家族の避難場所を決めておくといよいでしょう。また、避難場所までのルートや互いの連絡方法を確認しておきましょう。

③ 家庭内の日ごろからの備えが大切です！

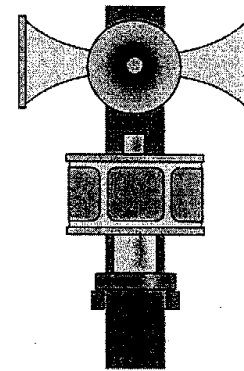
過去の災害で役に立ったものを参考に、家族構成に応じた「非常持出品」を準備し、リュックにまとめて、いつでも取り出せる場所に置いておきましょう。また、備蓄品として最低3日分の食料品や水（目安1人1日3リットル）を準備しておくことも大切です。
〔非常持出品一例〕 飲料水・食料品、救急薬品、懐中電灯、携帯ラジオ、現金、保険証、印鑑など

防災用スピーカーの一齐放送について

「防災とボランティアの日」にあたる1月17日、大災害時に緊急情報を流すため市立小学校（40校）や広域避難場所等に設置している同報通信システム（平成22年度設置）の防災用スピーカーから下記のとおり一齐放送を行います。

市民の皆さまの防災意識の向上を図り、防災無線についての理解を深めていただくとともに、設備の動作確認を行い、いざという時に有効に機能するよう点検を行うものですのでご理解、ご協力頂きますようお願いいたします。

放送日時 令和3年（2021年）1月17日（日）12時30分



●放送内容

こちらは豊中市危機管理課です。今日、1月17日は「防災とボランティアの日」です。震災の教訓を忘れることなく、日頃から災害に備え、いざという時にご近所どうし助け合える関係を築きましょう。

備 考 スピーカーからの放送音達範囲は概ね250mまたは300m
（ただし、天候等の諸条件により音達範囲が異なる場合がございます。）

※本放送は毎年下記日程で実施させていただきます。

1月17日 「防災とボランティアの日」

3月11日 「東日本大震災 発災日」

お問い合わせ

豊中市危機管理課 TEL 06-6858-2683

FAX 06-6858-2667